

環境経営レポート (エコアクション21)



真和興業 株式会社
令和6年8月20日発行

(対象期間：令和5年7月 ～ 令和6年6月)

目 次

1. 組織の概要	・ ・ ・	2
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	・ ・ ・	2
3. 環境経営方針	・ ・ ・	3
4. 環境経営目標	・ ・ ・	4
5. 環境経営計画	・ ・ ・	5
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	・ ・ ・	7
7. 実施体制	・ ・ ・	8
8. 環境経営目標の実績	・ ・ ・	9
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	・ ・ ・	10
10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・ ・ ・	13
11. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果， 並びに違反，訴訟などの有無	・ ・ ・	15
12. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・ ・ ・	15

1. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者氏名

真和興業 株式会社

代表取締役 真野 祥典

2) 所在地

本社・江南工場 : 愛知県江南市安良町池尻80番地

TEL : 0587-50-5505 FAX : 0587-50-5506

小牧工場 : 愛知県小牧市大字三ツ淵字南藩洲1248-1

TEL : 0568-65-7306 FAX : 0568-65-7318

3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 : 小野 明

TEL : 0587-50-5505 FAX : 0587-50-5506

[E-mail : ono@shinwa-made.co.jp](mailto:ono@shinwa-made.co.jp)

4) 事業活動の内容

溶融亜鉛めっき、めっき後加工、鉄鋼製品設計・製作、再生めっき事業

5) 事業の規模

法人設立年月日 : 昭和37年 7月 1日

資本金 : 2,000万円

主要製品出荷額 : 94,663万円 (令和5年度)

従業員数 : 46名 (令和6年8月現在)

敷地面積

本社・江南工場 : 5,655.00m² (床面積 : 2,881.01m²)

小牧工場 : 1,891.00m² (床面積 : 1,341.00m²)

2. 対象範囲 (認証・登録範囲) , レポートの対象期間及び発行日

1) 対象範囲 (認証・登録範囲)

組織 : 本社・江南工場、小牧工場

活動 : 事業活動の内容の通り

2) レポートの対象期間及び発行日

レポート対象期間 : 令和5年7月 ~ 令和6年6月

3. 環境経営方針

環境経営方針

環境経営理念

眞和興業株式会社は溶融亜鉛鍍金の生産活動を通じて、SDGs 目標11【住み続けられるまちづくりを】を促進すると共に環境に優しい企業として社会に貢献する。

環境汚染の予防と環境保全の継続的改善により、地球温暖化の防止と資源循環型社会の形成を産・学・官・地域と連携しながら推進する。

基本経営方針

令和元年に新設し稼働した江南工場では、旧工場と比較して環境配慮を目的とした設備等を導入しており、従来からエコアクション21で重要課題としていた

①CO2排出量の削減 ②産業廃棄物の削減を厳守

の上位互換と考えられる「SDGs」に沿って令和元年に改訂された会社方針に従い、環境経営方針も改訂を行う。

1. 環境関連の法規及び当社が同意するその他の合意事項を順守する。

SDGs 目標16【平和と公正をすべての人に】

2. 省エネルギー、エネルギーの再利用、燃転、電動化等を推進する事でCO₂ 排出量を削減する。

SDGs 目標7【エネルギーをみんなに そしてクリーンに】

3. 廃棄物の削減・資源化を推進する。

SDGs 目標9【産業と技術革新の基盤を作ろう】

4. 廃塩酸の資源化技術や再生めっきを活用した環境配慮製品を提供する。

SDGs 目標9【産業と技術革新の基盤を作ろう】

5. 放流水の再利用により水使用量を削減する。

SDGs 目標15【陸の豊かさも守ろう】

6. 有害化学物質の使用量を削減する。

SDGs 目標12【つくる責任 つかう責任】

7. 環境経営方針を定め、環境経営の継続的改善に努めます。

SDGs 目標8【働きがいも経済成長も】

令和 4年 5月 10日 改定

平成 24年 11月 1日 制定

眞和興業 株式会社

代表取締役 眞野 祥典

4. 環境経営目標

令和4年度の環境負荷の実績を年度基準として、目標を設定しました。

作成日：令和6年8月20日 作成者：小野 明

年度目標 項目	令和4年度実績 基準年度	令和5年度目標 基準年度比1%減	令和6年度目標 基準年度比2%減	令和7年度目標 基準年度比3%減
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	921,536	912,320	903,105	893,890
産業廃棄物排出量 (t)	259	256	254	251
一般廃棄物排出量 (t)	3.40	3.37	3.33	3.30
水使用量 (m ³)	13,027 ※1	12,897	12,766	12,636
環境配慮製品出荷量 (t)	368	386	404	423
有害化学物質の削減 (t)	1.30	1.29	1.27	1.26
亜鉛購入費用 (万円)	31,430.8	31,116.5	30,802.2	30,487.9
総エネルギー費用 (万円)	5,515.0	5,459.9	5,404.7	5,349.6
産業廃棄物費用 (万円)	492.3	487.4	482.5	477.5
水費用 (万円)	8.2 ※1	8.1	8.0	8.0
社外流出不良件数 (件/月)	0.9	0.9	0.8	0.8

- 1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量，都市ガス使用量，LPG使用量，ガソリン使用量，軽油使用量 から算出される二酸化炭素排出量の合計としました。
排出係数は、中部電力ミライズ(株)殿の令和4年度の調整後排出係数：0.459 (kg-CO₂/kWh) としました
- 2) 産業廃棄物排出量は、前処理工程から排出される廃塩酸（特別管理産業廃棄物）と、水処理から排出される汚泥（産業廃棄物）等の削減を目標に設定しました。
- 3) 一般廃棄物は、排出量削減を目標としました
- 4) 水使用量は井戸水と水道水で、水処理をした後、河川及び下水道に排出されます。
- 5) 環境配慮製品の出荷量については、太陽光発電設備の太陽光パネルの架台等や自社にてリサイクル（再めっき）した製品の、令和元年度の出荷量を基準として、目標を設定しました。
- 6) 有害化学物質の削減は、補修スプレーの使用本数と有害化学物質である キシレン、エチルベンゼン、トルエンの含有量から使用量を算出し、令和4年度の使用量を基準として、目標を設定しました。

※1 水使用量及び水費用において、令和4年度は江南工場にて漏水による使用量の増加がありました。その為、基準年度を江南工場は令和3年度に、小牧工場は令和4年度の実績としました。

5. 環境経営計画

取組期間：令和5年度（令和5年7月 ～ 令和6年6月）

1) 二酸化炭素排出量の削減の取り組み

取組事項	取組部署	取 組 内 容
電気使用量	全社 (真野工場長)	A) 不要照明の消灯の徹底、節電ステッカー貼付 B) 空調温度集中管理設定 冷房：28℃・暖房：22℃ C) パソコン等OA機器の不使用时の電源OFF D) 小牧工場内照明無電極ランプ設置 E) 江南工場内照明無電極ランプ設置 F) 事務所及び会議室等の照明LED設置 G) 人感センサーによる照明管理 H) 常夜灯タイマー制御による省エネ I) フォークリフトの最適運転（電気仕様）
軽油使用量	全社 (真野工場長)	A) フォークリフトのアイドリングストップの励行 B) フォークリフトの急発進、吹かしすぎの中止 C) 車両点検・整備の励行 D) 運搬トラックの最適運行ルートの励行 E) フォークリフトのLPG仕様・電気仕様への切り替え
ガソリン使用量	営業 (田保部長)	A) アイドリングストップの励行 B) エコドライブの徹底、低速走行の励行、急発進の中止 C) エアコン設定温度 冷房：28℃・暖房：22℃ D) 車両点検・整備の励行
LPG使用量	全社 (真野工場長)	A) フォークリフトの最適運転（LPG仕様） B) フォークリフトの電気仕様への切り替え
都市ガス使用量	江南工場 (西組課長)	A) 亜鉛浴槽自動制御の浴槽温度安定化による省エネ B) 稼働時間外の低温保温による省エネ C) フラックス槽の排熱利用による省エネ

2) 廃棄物排出量の削減

取組事項	取組部署	取 組 内 容
産業廃棄物	江南工場 (小野)	A) 集塵灰の再資源化 B) 廃塩酸の削減 C) 水処理汚泥の削減 D) 鉄くずの再資源化 E) 木くずの削減 G) 剥離槽導入により、廃酸の塩化第一鉄と剥離槽の塩化亜鉛を薬品原料として再生利用（廃酸の約半分を資源化） H) 新塩酸及び廃酸ローリーの往復化により製品のライフサイクルにおける省エネ
一般廃棄物	全社 (小野)	A) 分別による不燃ごみの削減 B) ゴミとなる包装材を極力受取らない（壊れたパレット等） C) 物を大事に使い、ゴミとまらない様に長く使う

3) 水使用量

取組事項	取組部署	取組内容
水道水 井戸水	全社 (小野)	A) 節水ステッカーの貼付 B) 節水呼びかけ C) こまめな止水 D) 漏水管理 (排水量のチェック)
	江南工場 (小野)	E) 処理済み排水の再利用

4) 環境配慮製品の製造、出荷

取組事項	取組部署	取組内容
リサイクル製品の加工、出荷	全社 (真野工場長)	A) 古くなった製品を引き取り、自社で再めっきする。 B) 製品を解体・補修し、再めっき後組み付けして出荷する
環境配慮製品の製造、又はめっき加工 (太陽光発電架台等)	全社 (真野工場長)	A) 太陽光発電用架台等を製造している客先より依頼を受け、めっき加工をする。 B) 小牧工場で太陽光発電架台を作成し、めっき加工後、出荷する。

5) 有害化学物質の削減の取り組み

取組事項	取組部署	取組内容
有害化学物質の削減	全社 (真野工場長)	A) スプレー使用量の調査 B) スプレー等を最後まで使い切ってから捨てる C) 必要以上に塗布しない D) 環境対応型スプレーへの切替

6) 社外流出不良の低減の取り組み

取組事項	取組部署	取組内容
社外流出不良の低減	全社 (小野)	A) 擦り過ぎて、地金が出ないようにする B) スプレー塗布を確実に C) 類似品は、客先注文書の寸法を確認する D) 客先注文書の数量を確認する E) 品質管理課や積込担当者による、出荷前製品の外観確認

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

2023年度 環境経営計画/実績評価・結果

環境管理責任者	作成日
小野 明	2024/8/20

環境目標 (基準年度/令和元年度)	取組事項/目標実績	部署	担当者	取組計画:○ 取組実績:◎ 実施 △:一部未実施 ×:未実施 又は数値 目標実績◎:達成 ×:未達成												年度計
				R5年						R6年						
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
電気使用量の削減 基準年比:-1%	教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	不要照明の消灯	全社	酒井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	昼休み時間の消灯の徹底	全社	田中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	蛍光灯の閉り	全社	眞野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	不要換気扇の電源OFF	全社	酒井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	エアコン温度管理の徹底	全社	田中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	OA機器等の不使用時電源OFF	全社	田中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	設備停止時の電源OFF	全社	西組課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	設備稼働管理の徹底	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	無電極ランプ導入	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
工場照明LED化	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
電気使用量 (kWh)			目標値	64,449	59,761	66,140	63,063	66,808	68,548	57,891	67,041	62,037	62,566	51,169	61,512	750,985
			実績値	57,823	56,607	64,292	61,516	64,601	66,714	56,608	68,333	60,900	58,464	49,699	63,182	728,739
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	◎
二酸化炭素排出量の削減	教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	車両の定期点検の励行	全社	冨田課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	運行経路の適正化	全社	田保部長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	エコドライブの励行	全社	田保部長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	アイドリングストップの実施	全社	田保部長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	空調温度の適正化	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	エコカーの導入	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フォークリフト (LPG車) の導入	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フォークリフト (電動車) の導入	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	亜鉛釜の温度管理の徹底	江南工場		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	バーナーの点検清掃の励行	江南工場	西組課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ダクトの点検・清掃	江南工場		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	浸漬管の点検・清掃	江南工場		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
都市ガス使用量 (m³)			目標値	20,608	20,097	19,832	20,263	20,569	22,248	17,987	19,750	19,496	18,302	19,327	17,990	236,469
			実績値	18,205	18,513	18,268	19,349	18,845	20,679	18,062	18,342	18,668	18,633	16,591	17,456	221,611
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	×	◎	◎	◎
液化石油ガス使用量 (kg) (LPGガス)			目標値	695.0	791.5	534.6	427.7	507.4	356.4	297.0	320.8	411.8	380.7	285.9	445.8	5,454.5
			実績値	413.4	579.5	477.0	406.9	493.0	417.2	253.6	461.9	343.0	417.6	295.1	298.6	4,856.8
ガソリン使用量 (ℓ)			目標値	445.8	446.5	238.6	520.7	294.0	220.9	293.7	224.8	279.7	246.3	281.9	379.4	3,872.3
			実績値	276.1	372.7	303.9	146.4	248.4	223.4	286.4	196.8	307.2	243.0	204.3	187.3	2,995.8
軽油使用量 (ℓ)			目標値	1,024.3	1,142.1	1,047.8	1,400.6	1,088.3	1,074.1	1,003.5	893.4	939.3	821.3	881.5	891.8	12,208.1
			実績値	856.4	1,002.6	764.2	1,072.7	1,143.9	932.9	770.2	965.8	802.7	891.2	1,186.5	881.9	11,271.1
			評価	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎
廃棄物排出量の削減	教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	分別ボックス設置・ラベル貼付	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	廃棄物の分別の徹底	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	用紙の両面使用及び縮小印刷	全社	酒井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	無駄の削減、資源化率の向上	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	集塵灰の再資源化	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	鉄くずの再資源化	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フカシ槽による再資源化	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	重金属総量の低減	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	廃塩酸の削減	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
水処理汚泥の削減	江南工場	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
一般廃棄物量 (t)			目標値	0.36	0.38	0.28	0.25	0.31	0.33	0.28	0.22	0.22	0.26	0.25	0.24	3.37
			実績値	0.34	0.20	0.29	0.35	0.27	0.32	0.29	0.22	0.30	0.26	0.24	0.31	3.38
			評価	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	×	◎	◎	×	×
産業廃棄物量 (t)			目標値	17.74	13.71	17.14	16.00	18.40	12.37	18.04	20.21	19.24	20.30	13.05	22.04	208.23
			実績値	12.72	15.56	11.68	14.60	12.36	17.58	17.79	12.72	14.75	22.26	15.12	13.06	180.20
			評価	◎	×	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	◎	◎
産業廃棄物量 (t) 【特別管理】			目標値	0.00	0.00	23.34	0.00	12.26	0.00	0.00	12.09	0.00	0.00	0.00	0.00	47.69
			実績値	0.00	0.00	12.99	0.00	0.00	10.66	0.00	0.00	12.56	0.00	0.00	0.00	36.21
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎
水使用量の削減	手順作成・教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	節水ラベル貼付	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	手洗節水の徹底	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	散水節水の徹底	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	漏水管理	江南工場	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	放流水の再利用	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
水使用量【上水】 (m³)			目標値	0.0	83.2	0.0	67.3	0.0	38.6	0.0	67.3	0.0	74.3	0.0	48.5	379.2
			実績値	0.0	61.0	0.0	52.0	0.0	61.0	0.0	63.0	0.0	45.0	0.0	53.0	335.0
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎
水使用量【地下水】 (m³)			目標値	1,144.5	1,003.2	1,255.3	895.0	1,073.4	937.1	730.1	1,009.2	1,180.3	1,339.5	1,065.4	1,263.8	12,896.8
			実績値	1,105.6	1,132.6	1,157.3	1,035.3	874.5	834.8	450.8	579.9	1,216.1	1,327.0	987.8	918.8	11,620.5
			評価	◎	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎
環境配慮製品の 出荷量	環境配慮製品の出荷量	本社・江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	太陽光設備の提供	小牧工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	太陽光設備用の製品の出荷量	本社・江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
出荷量 (t)			目標値	25.2	40.5	26.1	69.9	58.2	33.2	15.8	23.1	30.3	31.9	18.5	13.2	386.0
			実績値	18.3	14.5	22.6	21.3	17.2	12.3	11.9	15.0	35.8	23.4	13.3	10.4	215.9
			評価	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×
有害化学物質 の削減	キシレン、トルエンを含むめっき治具改善	江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	めっき作業改善	本社・江南工場	西組	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	仕上げ作業	本社・江南工場	田島	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	治具への取付方法の見直し	本社・江南工場	冨田課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	製品の吊下姿勢の見直し	本社・江南工場	冨田課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	亜鉛槽投入・引上方法の改善	本社・江南工場	西組	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	環境対応型スプレーへの切替	本社・江南工場	工場長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
化学物質を含む補修用スプレーの使用本数 (本)			目標値	950	1,188	950	1,069	356	475	713	594	1,212	178	594	713	8,993
			実績値	146	558	455	590	580	703	551	117	77	455	480	600	5,312
			評価	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
社外流出不良の低減 1.0件/月			目標値	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	11
			実績値	1	1	0	2	1	0	1	1	0	1	0	2	10
			評価	×	×	◎	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×	◎
環境管理責任者確認			小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

7. 実施体制

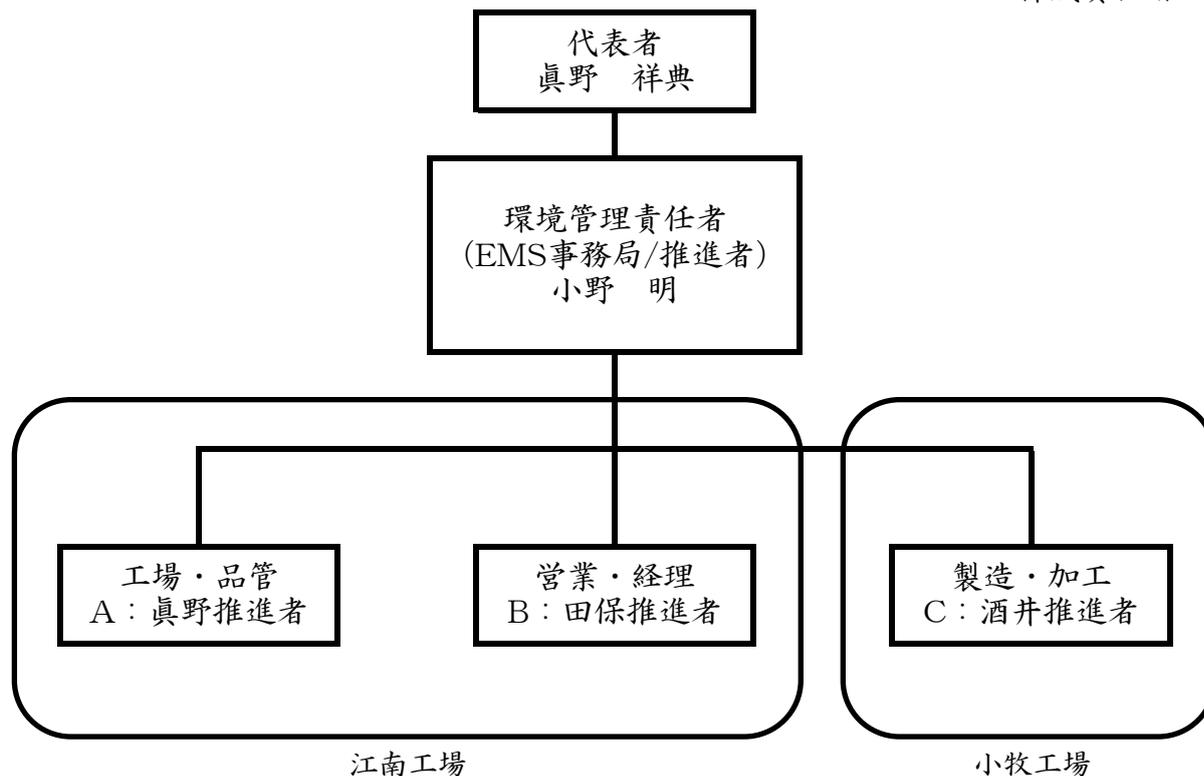
EA21実施体制図

作成：令和元年10月1日

改訂：令和6年8月19日

承認者 真野 祥典

作成責任者 小野 明



役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	代表取締役 真野 祥典	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針作成、環境管理責任者任命 資源用意、システム見直し 実施体制の構築 全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	小野 明	<ul style="list-style-type: none"> EMS総責任者、EMS構築・運用、維持 環境経営レポート作成 システムの適合性、運用状況監査
事務局	小野 明	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画立案、文書作成・管理 環境教育計画・実施、EMS事務管理
全従業員	A：真野推進者 B：田保推進者 C：酒井推進者	<ul style="list-style-type: none"> EMS運用実施 EMS運用実施状況確認及び記録

8. 環境経営目標の実績

今期実施期間の環境目標の達成状況を評価しました。

環境への取り組み実施期間は、令和5年7月から令和6年6月までで、令和5年度の1年間の集計結果と令和4年度の基準値とを比較し、

- 1) 各使用量については、1%削減の目標を達成できたものは ○ を、未達成には × を
- 2) 環境配慮製品については、5%の目標を達成時は ○ を、未達成時には × を
- 3) 各費用については、基準値より低減できているものには ○ を、増加している場合は × を、示しています。

令和4年度売上： 108,029万円 令和5年度売上： 94,663万円 (-12.4 %)

比較		令和4年度基準値 (R4/7~R5/6)	令和5年度結果 (R5/7~R6/6)	増減 (%)	達成度 評価
二酸化炭素排出量 ※1 (kg-CO ₂)		896,503	863,771	- 3.7	○
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量 (kWh)	758,571	728,739	- 3.9	○
	都市ガス (m ³)	238,858	221,611	- 7.2	○
	LPGガス使用量 (kg)	5,510	4,857	- 11.8	○
	ガソリン使用量 (L)	3,911	2,996	- 23.4	○
	軽油使用量 (L)	12,331	11,271	- 8.6	○
産業廃棄物排出量 (t)		259	216	- 16.3	○
一般廃棄物排出量 (t)		3.40	3.51	+ 3.2	×
水使用量 ※2 (m ³)		13,440	11,956	- 11.0	○
環境配慮製品 (t)		368	216	- 41.3	×
有害化学物質使用量 (t)		1.30	0.77	- 40.8	○
亜鉛購入費用 (万円)		31,430.8	15,515.3	- 50.6	○
総エネルギー費用 (万円)		5,515.0	3,845.7	- 30.3	○
産業廃棄物費用 (万円)		492.3	460.2	- 6.5	○
水費用 ※2 (万円)		6.9	6.2	- 10.6	○
社外流出不良件数 (件/月)		0.9	0.8	- 0.1	○

※1 二酸化炭素排出量における排出係数は、
・中部電力ミライズ(株)殿の令和4年度の調整後排出係数：0.459 (kg-CO₂/kWh)
としています。

※2 水使用量及び水費用については、令和4年度に江南工場にて漏水による使用量の増加がありました。その為、基準年度を江南工場は令和3年度に、小牧工場は令和4年度の実績としました。

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

1) 二酸化炭素排出量

項目	内容
結果	<p>二酸化炭素排出量は、総エネルギー使用量のCO₂の重量換算で、3.7%の減少となり、目標を達成する事が出来ました。</p> <p>総エネルギー費用についても、30.3%低減となりました。各エネルギー使用量自体も低減はできていますが、費用が大きく低減した理由としては、国の補助である「電気・ガス価格激変緩和対策」によるものです。</p>
評価	<p>①電気使用量 電気使用量につきましては、3.9%の減少となりました。 各事務所では、不要照明及び昼休み時間の消灯を行っています。 また、空調温度集中管理（冷房：28℃、暖房：22℃）にて管理しています。 工場内の通路やトイレ等は、人感センサーにより照明の管理や、常夜灯をタイマー制御にて管理しています。 コロナの影響により生産量が減少しました。その為、稼働時間が短くなった為、電気使用量が減少しました。</p> <p>②都市ガス使用量 都市ガス使用量につきましては、7.2%の減少となりました。 垂鉛浴槽を自動制御する事により、垂鉛浴槽の温度の安定化を図り、また、休日や夜間稼働時間外では低温保温する事で、都市ガス使用量の低減に努めています。 都市ガス使用量においても、生産量が減少したことにより、稼働時間が短くなった事により、都市ガス使用量が減少しました。</p> <p>③LPGガス使用量 LPGガス使用量につきましては、11.8%の減少となりました。 フォークリフト操作時のアイドルストップや急発進、ふかし過ぎを注意する事で、LPGガス使用量の低減に努めています。 また、生産量が減少し、リフト運転時間も短くなったことも、LPGガスの使用量の減少となっています。</p> <p>④ガソリン使用量 ガソリン使用量につきましては、23.4%の減少となりました。 客先訪問する際に、同じ方向のお客様を1日で訪問できる様に日程や時間調整をして、走行距離の短縮に努めました。</p> <p>⑤軽油使用量 軽油使用量につきましては、8.6%の減少となりました。 トラック使用時、納期を調整したりして、同じ方向のお客様数社を回れるようにルートを組立る事で、軽油使用量の低減に努めました。</p>

2) 廃棄物排出量

項目	内容
結果	産業廃棄物排出量につきましては、16.3%の減少となりました。 一般廃棄物排出量につきましては、3.2%の増加となりました。 費用面については、6.5%の減少となりました。
評価	一般廃棄物である可燃ゴミの排出量が増加してしまいました。 お客様が製品を持込される際に、製品にラップを巻いていたり、ダンボールにて持込されますので、可燃ゴミの排出量が増加となりました。分別を細目に行っていく様にします。

3) 水使用量

項目	内容
結果	水使用量につきましては、11.5%の減少となりました。 費用面でみますと、10.6%の減少となりました。
評価	節水ステッカーの貼り付けや節水の呼びかけをする事で、水使用量の低減に努めました。

4) 環境配慮製品

項目	内容
結果	環境配慮製品については、41.3%の減少となりました。
評価	太陽光関係の需要が減ってきております。新規顧客開拓等の営業活動を行い、新規受注できる様に努めます。

6) 有害化学物質の削減

項目	内容
結果	有害化学物質を含むスプレートの使用量につきましては、40.8%の減少となりました。
評価	スプレートの塗布方法を見直しして、必要範囲以上にスプレー塗布をしない様にする事で、スプレー使用量の低減に努めました。

7) 亜鉛購入量の削減

項目	内容
結果	亜鉛購入費用につきましては、50.6%の低減となりました。
評価	亜鉛購入量において、令和4年度が702,219kgに対し、令和5年度は363,959kgと亜鉛購入重量が減少したため、亜鉛購入金額も減少しました。

8) 客先流出不良の低減

項目	内容
結果	客先流出不良については、目標値である、0.9件/月以内に対し、0.8件/月であり、目標を出来ました。
評価	誤送や欠品による不具合流出も見られました。出荷前に確認していれば防ぐことが出来ていました。

10. 次年度の環境経営目標

作成日：令和6年8月20日 作成者：小野 明

令和4年度の環境負荷の実績を年度基準として、目標を設定しました。

年度目標 項目	令和4年度実績 基準年度	令和5年度実績 基準年度比1%減	令和6年度目標 基準年度比2%減	令和7年度目標 基準年度比3%減
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	921,536	863,771	903,105	893,890
産業廃棄物排出量 (t)	259	216	254	251
一般廃棄物排出量 (t)	3.40	3.51	3.33	3.30
水使用量 (m ³)	13,440 ※1	11,956	13,171	13,037
環境配慮製品出荷量 (t)	368	216	404	423
有害化学物質の削減 (t)	1.30	0.77	1.27	1.26
亜鉛購入費用 (万円)	31,430.8	15,515.3 ※2	15,360.1	15,205.0
総エネルギー費用 (万円)	5,515.0	3,845.7	5,404.7	5,349.6
産業廃棄物費用 (万円)	492.3	460.2	482.5	477.5
水費用 (万円)	6.9 ※1	6.2	6.8	6.7
社外流出不良件数 (件/月)	0.9	0.8	0.8	0.8

1) 二酸化炭素排出量は、電力使用量，都市ガス使用量，LPGガス使用量，ガソリン使用量，軽油使用量から算出された二酸化炭素排出量の合計としました。

電力使用量の排出係数は、中部電力ミライズ(株)殿の令和4年度の調整後排出係数：0.459 (kg-CO₂/kWh) とし

2) 産業廃棄物排出量は、前処理工程から排出される廃塩酸（特別管理産業廃棄物）と、水処理から排出される汚泥（産業廃棄物）等の削減を目標に設定しました。

3) 一般廃棄物は、排出量削減を目標としました

4) 水使用量は、地下水と水道水で、水処理をした後、河川に排出されます。

水使用量において、地下水は揚水量ではなく、排水メーターによる排水量より算出しています。

6) 環境配慮製品の出荷量については、太陽光発電設備の太陽光パネルの架台等や自社にてリサイクル（再めっき）した製品の、令和4年度の出荷量を基準として、目標を設定しました。

7) 有害化学物質の削減は、補修スプレーの使用本数と有害化学物質である キシレン、エチルベンゼン、トルエンの含有量から使用量を算出し、令和4年度の使用量を基準として、目標を設定しました。

※1 水使用量及び水費用において、令和4年度は江南工場にて漏水による使用量の増加がありました。その為、基準年度を江南工場は令和3年度に、小牧工場は令和4年度の実績としました。

※2 亜鉛購入費用において、月毎の購入重量に変更がありましたので、令和5年度を基準年度としました。

10. 次年度の環境経営計画

2024年度 環境経営計画/実績評価・結果

環境管理責任者	作成日
小野 明	2024/8/20

環境目標 (基準年度/令和元年度)	取組事項/目標実績	部署	担当者	取組計画:○ 取組実績◎:実施 △:一部未実施 ×:未実施 又は数値 目標実績◎:達成 ×:未達成												年度計	
				R6年						R7年							
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
電気使用量の削減 基準年比:-2%	教育	全社	小野														
	不要照明の消灯	全社	酒井														
	昼休み時間の消灯の徹底	全社	田中														
	蛍光灯の閉引き	全社	眞野														
	不要換気扇の電源OFF	全社	酒井														
	エアコン温度管理の徹底	全社	田中														
	OA機器等の不使用時電源OFF	全社	田中														
	設備停止時の電源OFF	全社	西組課長														
	設備稼働管理の徹底	江南工場	工場長														
	無電極ランプ導入	江南工場	工場長														
	工場照明LED化	江南工場	工場長														
	電気使用量 (kWh)			目標値	63,798	59,158	65,472	62,426	66,133	67,855	57,306	66,364	61,411	61,934	50,652	60,890	743,400
				実績値													
				評価													
二酸化炭素排出量の削減	教育	全社	小野														
	車両の定期点検の励行	全社	富田課長														
	運行経路の適正化	全社	田保部長														
	エコドライブの励行	全社	田保部長														
	アイドリングストップの実施	全社	田保部長														
	空調温度の適正化	全社	小野														
	エコカーの導入	江南工場	工場長														
	フォークリフト (LPG車) の導入	江南工場	工場長														
	フォークリフト (電動車) の導入	江南工場	工場長														
	亜鉛釜の温度管理の徹底	江南工場															
	バーナーの点検清掃の励行	江南工場															
	ダクトの点検・清掃	江南工場	西組課長														
	浸漬管の点検・清掃	江南工場															
	都市ガス使用量 (m ³)			目標値	20,400	19,894	19,631	20,059	20,361	22,024	17,806	19,550	19,299	18,117	19,132	17,809	234,081
			実績値														
			評価														
液化石油ガス使用量 (kg) (LPGガス)			目標値	688.0	783.5	529.2	423.4	502.3	352.8	294.0	317.5	407.7	376.8	283.0	441.3	5,399.4	
			実績値														
ガソリン使用量 (ℓ)			目標値	441.3	442.0	236.2	515.4	291.1	218.7	290.7	222.6	276.8	243.8	279.1	375.5	3,833.2	
			実績値														
軽油使用量 (ℓ)			目標値	1,013.9	1,130.6	1,037.3	1,386.5	1,077.3	1,063.2	993.3	884.4	929.8	813.0	872.6	882.8	12,084.8	
			実績値														
			評価														
廃棄物排出量の削減	教育	全社	小野														
	分別ボックス設置・ラベル貼付	全社	小野														
	廃棄物の分別の徹底	全社	小野														
	用紙の両面使用及び縮小印刷	全社	酒井														
	無駄の削減、資源化率の向上	全社	小野														
	集塵灰の再資源化	江南工場	工場長														
	鉄くずの再資源化	江南工場	工場長														
	フカシ槽による再資源化	江南工場	工場長														
	重金属総量の低減	江南工場	工場長														
	廃塩酸の削減	江南工場	工場長														
	水処理汚泥の削減	江南工場	小野														
	一般廃棄物量 (t)			目標値	0.36	0.37	0.27	0.24	0.31	0.33	0.27	0.22	0.22	0.26	0.25	0.23	3.34
				実績値													
				評価													
産業廃棄物量 (t)			目標値	17.56	13.57	16.96	15.84	18.22	12.24	17.86	20.00	19.04	20.10	12.92	21.81	206.12	
			実績値														
産業廃棄物量 (t) 【特別管理】			目標値	0.00	0.00	23.11	0.00	12.13	0.00	0.00	11.97	0.00	0.00	0.00	0.00	47.21	
			実績値														
			評価														
水使用量の削減	手順作成・教育	全社	小野														
	節水ラベル貼付	全社	小野														
	手洗節水の徹底	全社	小野														
	散水節水の徹底	江南工場	工場長														
	漏水管理	江南工場	小野														
	放流水の再利用	江南工場	工場長														
水使用量【上水】 (m ³)			目標値	0.0	82.3	0.0	66.6	0.0	38.2	0.0	66.6	0.0	73.5	0.0	48.0	375.3	
			実績値														
			評価														
水使用量【地下水】 (m ³)			目標値	1,133.0	993.0	1,242.6	885.9	1,062.5	927.7	722.8	999.0	1,168.4	1,325.9	1,054.7	1,251.1	12,766.6	
			実績値														
			評価														
環境配慮製品 出荷量 (t)	環境配慮製品の出荷量	本社・江南工場	工場長														
	太陽光設備の提供	小牧工場	工場長														
	太陽光設備用の製品の出荷量	本社・江南工場	工場長														
出荷量 (t)			目標値	26.4	42.5	27.4	73.3	60.9	34.8	16.5	24.2	31.8	33.4	19.4	13.9	404.4	
			実績値														
			評価														
有害化学物質 の削減	キシレン、トルエンを含むめっき治具改善	江南工場	工場長														
	めっき作業改善	本社・江南工場	西組														
	仕上げ作業	本社・江南工場	田島														
	治具への取付方法の見直し	本社・江南工場	富田課長														
	製品の吊下姿勢の見直し	本社・江南工場	富田課長														
	亜鉛槽投入・引上方法の改善	本社・江南工場	西組														
	環境対応型スプレーへの切替	本社・江南工場	工場長														
化学物質を含む補修用スプレーの使用本数 (本)			目標値	941	1,176	941	1,058	353	470	706	588	1,200	176	588	706	8,902	
			実績値														
			評価														
社外流出不良の低減 0.8件/月			目標値	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	10	
			実績値														
			評価														
環境管理責任者確認			小野														

11. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用される環境関連法令は、適用一覧として取りまとめました。関係当局からの違反、環境に関する苦情や訴訟などの指摘は、ありませんでした。 遵守評価日：令和6年8月19日
 なお、下記に当社に適用される主要な環境法令を示します。 遵守評価者：小野 明

主要適用法令	適用内容概要	遵守評価 (※1)
水質汚濁防止法	排水処理施設設置届出，排出水の水質分析	○
工業用水法	許可井戸使用状況報告書・報告書内訳表の提出	○
PRTR法	第1種指定化学物質の排出量の提出	○
消防法（危険物関連）	貯蔵施設設置の届出	○
毒物劇物取締法	毒物・劇物の表示、盗難や紛失の措置	○
廃棄物処理法（※2）	マニフェスト交付状況報告書の提出， 委託契約書の締結，許可証の確認	○
騒音・振動規制法	特定施設設置の届出	○
大気汚染防止法	ばい煙発生施設設置の届出	-
浄化槽法	浄化槽法定検査，保守点検及び浄化槽の清掃実施	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○

注記 ※1：○は遵守，-は対象外

※2：廃棄物処理業者は、優良認定業者の為、1回/年の訪問は行いません。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1) 代表者による全体の評価

(1) 環境経営目標の達成状況

- ・ 二酸化炭素総排出量においては、目標を達成することが出来ました。
- ・ 総エネルギー使用量においては、全項目で目標を達成する事が出来ました。
- ・ 一般廃棄物排出量が目標を達成する事が出来ませんでした。
- ・ 産業廃棄物排出量においては目標を達成する事が出来ました。
- ・ 水使用量においては目標を達成する事が出来ました。
- ・ 環境配慮製品が目標を達成する事が出来ませんでした。
- ・ 費用面では、全項目において低減する事が出来ました。
- ・ 社外流出不良件数において、目標を達成する事が出来ました。
- ・ 総エネルギー費用において、大きく低減した理由は国の補助によるものです。
補助の減額や廃止となる場合を考え、取組事項の検討が必要です。

(2) 環境経営計画の実施状況

- ・ 環境経営計画実施状況評価は、概ね良好です。

(3) 環境法令等の遵守状況

- ・ 法令遵守を確認しました

(4) 環境経営システムの運用状況

- ・ 一般廃棄物排出量の削減に重点を置き、取組みします。
- ・ 環境配慮製品が増加出来る様、営業活動を行います。
- ・ 目標を達成している項目においても、継続して取組み、削減を図ります。

2) 変更の必要性の有無と見直し・指示

代表者による見直しを令和6年8月19日に実施し、下表の結果でした。

	項目	変更の有無	見直し・指示
1	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	環境経営方針の見直しの必要はありません
2	環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	亜鉛購入費用の基準年度を、令和5年度に変更しました。
3	環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	環境経営計画の変更はありません
4	環境経営システム	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	問題ありません
5	実施体制	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	問題ありません